

磐田市

# 桶ヶ谷沼 ビジターセンター

第224号 2023年1月号

だより



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



## あけましておめでとうございます

今年(うさぎどし)は、卯(おた)は、穏(おんこう)やかで温厚(せいしつ)な性質から「家内安全(かないあんぜん)」を象徴(しょうちゆう)し、また跳躍(ちようやく)する姿(すがた)から「飛躍(ひやく)」、「向上(こうじやう)」を象徴(しょうちゆう)するものとして親(した)しまれてきました。他(ほか)にも「植物(しょくぶつ)の成長(せいちゆう)」という意味(いみ)もあり、新(あたら)しいこと(ちようせん)に挑(てき)戦(せん)するのに最(さい)適(てき)な年(とし)と言(い)われています。

これ(こ)までの約(やく)3年(ねん)間(かん)、新(えい)型(ぎやう)コ(こ)ロ(ろ)ナ(の)ウ(の)イ(の)ル(の)ス(の)の影(えい)響(きやう)で数(かず)々(ささ)の苦(く)難(なん)を強(し)いられてき(き)ました(た)が、去(き)年(ねん)の半(な)ば(な)から少(あ)しづ(づ)つ明(あ)るい話(わ)題(だい)も耳(みみ)にす(す)るよ(よ)うに(に)な(な)りました(した)。今(こ)年(ねん)は(は)さら(さら)なる「飛(ひ)躍(やく)」、「向(き)上(じやう)」が感(か)じら(ら)れる年(ねん)に(に)な(な)るこ(こ)を(を)期(き)待(たい)し(し)たい(たい)です(す)。

ビ(ビ)ジ(ジ)ター(ター)セ(セ)ン(ン)ター(ター)は(は)何(なに)と(と)言(い)っ(っ)ても(も)ベ(ベ)ッコ(コ)ウ(ウ)ト(ト)ン(ン)ボ(ボ)の(の)数(かず)が(が)増(ふ)えるこ(こ)を(を)期(き)待(たい)し(し)たい(たい)です(す)。



写真は R4 年羽化第1号のベッコウトンボ(R4.3.25撮影)  
今年もたくさんの羽化が見られることを期待したいです

とくがわいえやす

## 徳川家康と桶ヶ谷沼 (桶ヶ谷沼の名前の由来)

2023年(たいが)のNHK大(たい)河(が)ドラ(ら)マ(ま)は(は)徳(とく)川(が)家(け)康(こう)の波(は)乱(らん)の生(せい)涯(がい)を(を)描(えが)く「ど(どう)う(う)する家(け)康(こう)」で(で)す。こ(こ)の(の)ドラ(ら)マ(ま)は(は)数(かず)々(ささ)の「ど(どう)う(う)する?」の選(せん)択(たく)を(を)乗(の)り(り)切(き)り、乱(らん)世(せい)を(を)治(おさ)め江(え)戸(と)幕(ぼく)府(ふ)を(を)開(か)い(い)設(せつ)した家(け)康(こう)の奇(き)跡(せき)と希(き)望(ぼう)の物(もの)語(ご)で(で)す。

家(け)康(こう)は(は)幼(お)い(い)こ(こ)ろ(ろ)駿(すん)府(ふ)(今(いま)の静(しず)岡(おか)市(し))で(で)今(いま)川(が)家(け)の(の)人(ひと)質(しつ)と(と)して(して)過(す)ご(ご)し、29歳(さい)から45歳(さい)ま(ま)で(で)は(は)浜(はま)松(まつ)城(じやう)に(に)住(す)んで(て)いた(た)な(な)ど(ど)静(しず)岡(おか)県(けん)に(に)ゆ(よ)かり(り)の(の)深(ふか)い

人(じん)物(ぶつ)で(で)す(す)が、桶(た)け(け)谷(が)沼(ぬま)も家(け)康(こう)の(の)ゆ(よ)かり(り)の(の)地(ち)で(で)す。

1572年(げんき) (元(げん)龜(き)三(さん)年(ねん)) 織(お)田(だ)信(のぶ)長(なが)包(ほう)圍(い)網(もう)に(に)参(さん)加(か)す(す)た(た)め(め)武(た)け(け)田(だ)信(のぶ)玄(げん)が(が)甲(か)斐(はい)の(の)国(くに) (今(いま)の山(やま)梨(り)県(けん)) から上(じやう) 洛(らく)を(を)し(し)ま(ま)す。途(と)中(ちゆう) 、遠(とう) 江(え)に(に)侵(しん)攻(こう)した(した)武(た)け(け)田(だ)軍(ぐん)を(を)徳(とく)川(が)・織(お)田(だ)軍(ぐん)が(が)迎(むか)え(え)撃(げ)つ(つ)こ(こ)と(と)に(に)な(な)り(り)ま(ま)した(した)。そ(その)の(の)戦(せん)勝(しょう)祈(ねが)願(がん)の(の)た(た)め(め)家(け)康(こう)が(が)桶(た)け(け)谷(が)沼(ぬま)に(に)「桶(た)け(け)」を(を)洗(せん)め(め)た(た)と(と)い(い)う(う)故(こ)事(じ)が(が)桶(た)け(け)谷(が)沼(ぬま)の(の)名(な)前(ぜん)の(の)由(ゆ)来(らい)と(と)な(な)っ(っ)て(て)い(い)ま(ま)す。家(け)康(こう)軍(ぐん)と(と)武(た)け(け)田(だ)軍(ぐん)は(は)磐(い)田(だ)市(し)一(いち)言(ごん)坂(さか)と(と)浜(はま)松(まつ)市(し)三(さん)方(かた)ヶ(が)原(はら)で(で)戦(たたか)い(い)ま(ま)す(す)が、家(け)康(こう)軍(ぐん)は(は)多(お)く(く)の(の)死(し)傷(しよう)者(しや)を(を)出(だ)し(し)惨(ざん)敗(ぱい)し(し)ま(ま)した(した)。し(し)か(か)し(し)こ(こ)の(の)敗(ぱい)戦(せん)が(が)そ(その)の(の)後(ご)の(の)家(け)康(こう)の(の)生(せい)涯(がい)の(の)教(きやう)訓(くん)と(と)な(な)った(た)と(と)も(も)い(い)え(え)ま(ま)す。



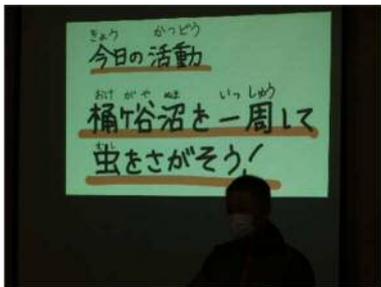
一言坂戦跡を示す碑



桶

# 第8回自然塾のようす

12月11日(日)に第8回自然塾が開催され、塾生15人が参加しました。今回は、「冬の桶ヶ谷沼を一周して虫をさがそう」をテーマに、講師の沖田一郎さんから冬の虫の様子や探し方の説明を受けた後、桶ヶ谷沼へでかけ、観察路を注意深く観察しました。すると、地面や枯草の中、木の枝などにアリやカメムシの幼虫、アブ、クモなど多くの生き物を見つけることができました。その他にも、カマキリの卵鞘やカイガラムシが枝についている様子なども見ることができ、気温が下がる冬でも虫たちはしっかり生きてることを学びました。



今回の自然塾のテーマを説明する講師の沖田さん



地面をよく観察するとアリがいました



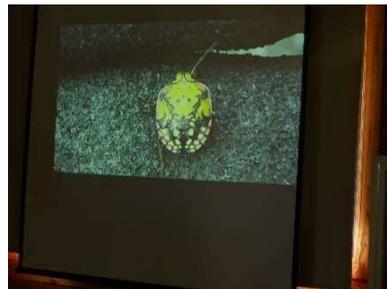
飯塚で目を閉じるといろいろな音が聞こえてきました



木にも生き物がいました



カマキリの卵鞘 中にはたくさんの卵が入っていました



カメムシの幼虫 成虫と似ていますが、翅がないです

センター行事のお知らせ：「桶ヶ谷沼の外来種について調べ考えよう」	
日時	2月12日(日) 13:30~15:30
場所	桶ヶ谷沼ビジターセンター、桶ヶ谷沼
対象・募集人数	一般(小学生は保護者同伴、未就学児の参加・見学は不可)・20人 先着順
内容	身近な外来種にはどのような生物がいて、なぜ問題なのか等の講義を受けた後、桶ヶ谷沼に出かけ、桶ヶ谷沼周辺にいる外来種を観察します。また、標本とも照合して外来種について詳しく学びます。
服装・持ち物	マスク着用、野外活動ができる服装(長そで・長ズボン)、防寒具、帽子、水筒、タオル、軍手(または手袋)、長靴、カッパ(少雨の場合)
備考	雨天の場合はセンター内での活動となります。新型コロナウイルスの感染状況によっては中止になることがあります。
*申し込みは直接、電話やFAXでビジターセンターへ	